

講義科目名称： がん看護学特論Ⅱ

授業コード： 6630600200

英文科目名称： Advanced Cancer NursingⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択 がん看護CNS必修
担当教員			
◎石田和子、樺澤三奈子、酒井禎子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間			
	【担当教員】				
	【氏名】 ◎石田 和子 樺澤三奈子 酒井 禎子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 新潟薬科大学看護学部	【研究室】 317 318	【メールアドレス】 kazukoi@niigata-cn.ac.jp minako-k@niigata-cn.ac.jp	
	【大学の科目区分】 専門分野				
	【D P 1】 ◎	【D P 2】 ○	【D P 3】 ○	【D P 4】 ○	【D P 5】 ◎

到達目標	1. がんにより苦痛を体験している人々および家族の特徴について述べることができる。 2. 質の高い看護を実践するための基盤となる概念と理論について説明することができる。
------	---

授業概要	がん看護・緩和ケア領域で主となる概念・理論（症状マネジメントモデル、ストレス・コーピング、喪失・悲嘆、危機、スピリチュアルペイン、セルフケア、QOL、家族）について、講義および国内外の文献抄読により理解するとともに、これらの理論を活用した事例検討を行い、がん看護・緩和ケアにおける理論活用の実践について修得する。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん看護における理論：必要性和その活用法 学修内容：・がん看護において活用できる理論の概要 備考：石田
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん患者の症状マネジメントモデル（1） 学修内容：・症状マネジメントに活用できる理論と事例への適用 備考：石田
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん患者の症状マネジメントモデル（2） 学修内容：・症状マネジメントに活用できる理論と事例への適用 備考：石田
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：ストレスコーピング、喪失・悲嘆・危機・適応理論（1） 学修内容：・がん看護におけるストレスコーピング、喪失・危機理論と事例への適用 備考：酒井
	5	授業内容 授業形態：講義 学修課題：ストレスコーピング、喪失・悲嘆・危機・適応理論（2） 学修内容：・がん看護におけるストレスコーピング、喪失・危機理論と事例への適用 備考：酒井
	6	授業内容 授業形態：講義 学修課題：スピリチュアルペインに関する理論（1） 学修内容：・村田理論と事例への適用 備考：石田
	7	授業内容 授業形態：講義 学修課題：スピリチュアルペインに関する理論（2） 学修内容：・村田理論と事例への適用 備考：石田
	8	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん患者のセルフケアに関する理論（1） 学修内容：・エンパワメント、ヘルスプロモーション、自己効力理論などのがん患者のセルフ

	<p>ケアに活用できる理論と事例への適用</p> <p>備考： 樺澤</p> <p>9 授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん患者のセルフケアに関する理論（2） 学修内容：・エンパワメント、ヘルスプロモーション、自己効力理論などのがん患者のセルフケアに活用できる理論と事例への適用</p> <p>備考： 樺澤</p> <p>10 授業内容 授業形態：講義 学修課題：Quality of Life の概念と研究の動向 学修内容：・がん医療・看護における Quality of Life の概念と研究の動向</p> <p>備考： 酒井</p> <p>11 授業内容 授業形態：講義 学修課題：家族支援に関する理論（1） 学修内容：・がん患者の家族の体験の特徴、家族ケアに活用できる理論と事例への適用</p> <p>備考： 酒井</p> <p>12 授業内容 授業形態：講義 学修課題：家族支援に関する理論（2） 学修内容：・がん患者の家族の体験の特徴、家族ケアに活用できる理論と事例への適用</p> <p>備考： 酒井</p> <p>13-15 授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん看護における理論の活用 学修内容：・既習の理論を用いた事例の分析とディスカッション</p> <p>備考： 石田</p> <p>16 授業内容 授業形態：演習 学修課題：理論を活用した事例検討（1） 学修内容：・がん患者に適応できる理論活用についてディスカッション</p> <p>備考： 石田 樺澤</p> <p>17 授業内容 授業形態：演習 学修課題：理論を活用した事例検討（2） 学修内容：・がん患者に適応できる理論活用についてディスカッション</p> <p>備考： 石田 樺澤</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：適宜指示する。</p> <p>事後学習：適宜指示する。</p>
評価方法、評価基準	到達目標に対して、授業参加状況 20%、プレゼンテーション 30%、レポート 50%を総合的に評価する。
テキスト	教科書は指定しない。
参考図書・資料等	必要時提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	がん看護における理論の活用について学んだことを活かし事例を踏まえてプレゼンテーションし討議する。 事前に各自が提示する資料を作成し、人数分の資料を学生が準備する。
教員からのメッセージ	授業に関する質問等がある場合、メールアドレスにお問い合わせください。
オフィスアワー	石田、樺澤が窓口となり対応する。事前にメールで連絡すること。